

2014年3月18日

報道機関関係者 各位

環境省「みどり香るまちづくり」震災復興特別賞入賞企画
「香りの灯台～はじまりの花ひろば～」
南三陸寄木地区植樹祭の開催について

第8回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト（環境省主催）において、南三陸歌津寄木集落の方々（寄木集落の仮設住宅に住むの方々）と本学生活環境学科の学生達（3年生7名、指導教員：鳥羽妙）が協力して企画した「香りの灯台～はじまりの花ひろば～」が震災復興特別賞を受賞しました。

南三陸歌津寄木集落は、津波被害により震災前のきれいな漁村風景が損なわれました。津波の被害により住宅が建てられなくなったところに広場を作り、植物を植え、新しいコミュニティの場を作りだし、地域の再生活動を行っていきます。

この度、この企画の植樹祭を下記の日程で開催いたしますので、是非、取材くださいますようお願い申し上げます。

【日時】2014年3月30日（日）10：00～12：00

【場所】宮城県本吉郡南三陸町 歌津寄木集落

【企画団体】寄木さくらの会

【共同企画団体】尚絅学院大学（総合人間科学部生活環境学科）

裏面にコンテストに応募した際の企画書を添付しています。

「みどり香るまちづくり」企画コンテスト環境省ホームページURL

http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/

<取材に関する窓口>

学校法人尚絅学院

法人事務局企画調整課（吉谷）

TEL：022-381-3332

平成25年度第8回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト
(環境省主催) 入賞 (震災復興特別賞)

香りの灯台 ~はじまりの花ひろば~

企画テーマ・目的

南三陸 寄木地区の集落は、津波被害により震災前のきれいな漁村風景が損なわれましたが、震災前から活動していた花好きの仲間が集まり、復興に向けて花による地域の再生活動を実施してきました。「香りの灯台 ~はじまりの花ひろば~」は、寄木地区が元気になる新しいコミュニティの場として創造していくものです。人々が集まり、交流が広がり、さらに香りに誘われて遠方からも集まる場所、広場全体が**香りを灯す**灯台となり、輝いて**地域を照らし**、寄木地区の人々が広場を通じて、**元気に暮らせる**、**はじまりの場所**として進めます。

木々の花の香りを中心に据え、四季おりおりの香りが**六感**(香・食・触・目・手・元気)で**楽しめる**植栽を行います。花の癒しの香りに加え、海の幸が豊かな地域にあって、植物と地域の本来の香りのマッチングを大切にしていきます。香りの活動の将来的な展開は、「香りの灯台 ~はじまりの花ひろば~」から防災集団移転地、旧集落地区、そして、香りのある生活へと地域全体への広がりを目指します。特に、姿かたちのない「香り」が六感を通して形となり、生活の中にとけ込み、地域の食材とのマッチングや手工芸等の新しい産業として新たに生まれ変わる「はじまり」となること目指します。

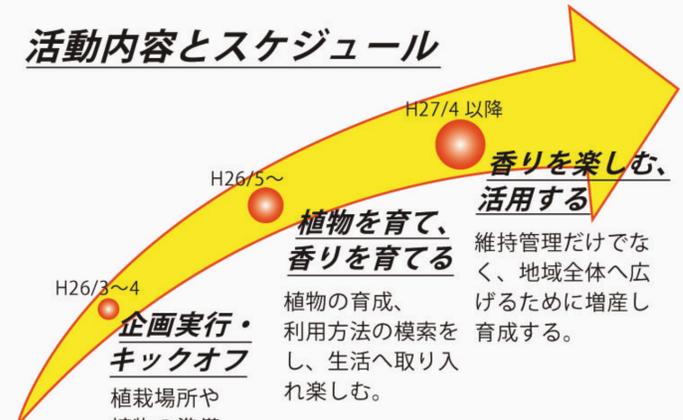


花・実・楽しみ暦

種	番号	形状	香	色	主な活用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	本・株
樹	1	クちなし	低	強	白	染料・薬用												5
樹	2	ロウバイ	中	中	黄													5
樹	3	ミツマタ(黄色)	中	強	黄	和紙												5
樹	4	ミツマタ(赤色)	中	強	黄	和紙												5
樹	5	アサヒ	つる	中	黄	茶												5
樹	6	クロモジ	中	中	黄	茶												5
樹	7	サンシュユ	中	中	黄	茶												5
樹	8	スモモ	高	強	白	茶												5
樹	9	ローズマリー	低	強	白	茶												5
樹	10	ヒイラギモクセイ	中	中	白	茶												5
樹	11	ナツメ	中	強	白	茶												5
樹	12	グックイジユ (ローリエ)	中	強	黄	茶												5
樹	13	タイオウグミ (びっくり)	中	強	白	茶												5
樹	14	アジサイ 5種各2本	低	強	紫	(白他)												10
樹	15	フジ(白・紫)	つる	中	紫	(白他)												5
樹	16	キヌモクセイ	中	強	黄	茶												5
樹	17	ライラック(白・紫)	中	中	白	茶												5
樹	18	赤トクギ	高	中	白	茶												5
樹	19	カキ 3種各1本	高	中	白	茶												5
樹	20	サルズベリ 赤・白各1本	中	強	赤	(白他)												5
樹	21	ウメ 2種各1本	中	中	白	茶												5
樹	22	ブルーネ	中	強	白	茶												5
樹	23	アンズ	中	強	桃	茶												5
樹	24	ジャスミン	低	強	白	茶												5
樹	25	イチジク 2種各2本	中	強	白	茶												5
樹	26	シトショウブ	低	強	桃	茶												5
樹	27	ブルーベリー 2種各2本	低	強	白	茶												5
樹	28	ユズ	高	中	白	茶												5
樹	29	バラ 4種各2本	低	強	白	(赤他)												60
樹	30	ラベンダー 6種各10株	低	強	紫	ティーンエージ												60
小計																		142

種	番号	形状	香	色	主な活用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	本・株
樹	31	アンディー・テューク	宿	強	紫	茶												5
樹	32	アネシソップ	宿	強	紫	ティー・工芸												5
樹	33	ワイルドストロベリー	宿	中	白	茶												5
樹	34	ソープワート	宿	中	青	茶												5
樹	35	フレンドタラゴン	宿	強	白	茶												5
樹	36	タンジー	宿	強	黄	染料・工芸												5
樹	37	チコリ	宿	中	青	ティー・茶												5
樹	38	ヤロー (ノキギリソウ)	宿	中	黄	ティー												5
樹	39	ルバーブ	宿	中	白	茶												5
樹	40	オレガノ (ハナハッカ)	宿	強	紫	茶												5
樹	41	キャットニップ	宿	強	白	茶												5
樹	42	サラダバーネット	宿	強	紫	茶												5
樹	43	スイートバイオレット	宿	強	紫	工芸他												5
樹	44	セージ	宿	強	紫	茶												5
樹	45	ミント類 4種各5株	宿	強	紫	茶												20
樹	46	レモンバーム	宿	強	白	茶												5
樹	47	タイム (コモンタイム)	宿	強	紫	茶												5
樹	48	スチビア	宿	強	白	茶												5
樹	49	セントジョーンズワート	宿	強	黄	茶												5
樹	50	レモンゲラス	宿	強	紫	茶												5
樹	51	シバゲクサ 白・ピンク	宿	強	白	(ピンク)												20
樹	52	ヒガンバナ (赤・黄)	球	強	赤	(黄)												30
樹	53	スズラン	球	強	白													50
樹	54	イチハツ	宿	強	紫													10
樹	55	アヤメ	宿	強	紫													10
樹	56	チューリップ	球	強	多													100
小計																		335

種	番号	形状	香	色	主な活用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	本・株
その他の草花	57	マリーゴールド (食用)	草	強	黄	茶												200
その他の草花	58	カモミール (ジャーマン)	草	強	白	ティー・工芸												5
その他の草花	59	オスタチューム	草	強	紫	茶												5
その他の草花	60	アデルアイランド	草	中	黄	茶												5
その他の草花	61	ルッコラ	草	強	白	茶												5
その他の草花	62	紅花	草	強	黄	工芸												20
その他の草花	63	コスモス (種)	草	強	多													200
その他の草花	64	紫の花 (種)	草	中	黄													1000
小計																		1440



企画の効果

現在、防災集団移転地の造成が始まり、新しい寄木地区が生まれようとしています。企画地を中心とした活動は、養殖業が中心の漁村の中、産業の振興と地域で暮らす人々の自信につながります。「香りの灯台 ~はじまりの花ひろば~」から、香り活用方法の創造(産業振興への展開)や交流の場(地域コミュニティの結束)といった効果が期待でき、それらの相乗効果によって集落の活性だけではなく地域外との交流の場、情報発信の場ともなりえます。ハーブなどの香りを使った地場産の海の幸とのマッチング料理の期待もあり、六感で楽しむ香りから、寄木地区の新しい交流スタイルがはじまることが期待できます。